

(様式1)

自 己 評 価 表

(愛媛県立北条高等学校)
学校番号(19)

教育方針	多様性を尊重し、総合学科の強みを最大限に生かした教育活動の中で、未来を創る人材を育成する。	重点目標	○校訓「自律 創造 敬愛」に根差した生徒の育成 ○フットワーク・チームワーク・ネットワークの充実・強化
------	---	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	教科指導の充実	授業公開週間や研究授業等を利用し、年2回以上相互授業参観を行い、指導方法の改善と授業力向上を図る。また、学校訪問研修、教育センター研修に積極的に参加し、専門性の向上に努める。 A:4回以上 B:3回 C:2回 D:1回 E:0回			
	家庭学習の充実	生徒による授業評価を年2回、保護者による授業評価を年1回実施し、「分かる授業」を目指した改善策を講じる。 1日3時間以上の家庭学習時間を確保させ、家庭学習の習慣化と質の向上を図る。 A:3時間以上 B:2時間59分～2時間 C:1時間59分～1時間 D:59分～30分 E:29分以下			
	生徒指導	基本的な生活習慣の確立	校訓を念頭に自分と学校に「自信と誇り」を持てるように基本的な生活習慣の徹底を図る。行事等の機会を捉え、身だしなみの徹底を図る。		
生徒指導	問題行動未然防止	指導方針の明確化を図り、教員間の意識の統一を踏まえて、情報を共有して問題行動の未然防止とともに組織としての対応を心掛ける。 生徒理解のため年間6回以上の個人面談を行う。 A:6回以上 B:5回 C:4回 D:3回 E:2回以下			
進路指導	進学指導の充実	1年次からの生徒への進路研究の意識付けを行うとともに、組織的な面接・小論文指導を充実させ、総合型選抜・学校推薦型選抜等における志望校合格率100%を目指す。 A:90%以上 B:89～80% C:79～70% D:69～60% E:59%以下			
	就職指導の充実	進路ガイダンス、進路実現講座、面接指導、就職セミナーなどを効果的に連動させることで、学校紹介による就職内定率100%を目指す。さらに、就業後のミスマッチを防ぐために、生徒と担任、就職担当職員との相談を充実させる。 A:100% B:99～90% C:89～80% D:79～70% E:69%以下			
人権教育	人権意識の高揚	いじめの未然防止のために、状況把握や情報共有がスムーズにできる工夫と協力体制づくりを継続する。人権意識向上のための様々な啓発活動を実施し、生徒が心の成長を感じられるよう工夫する。			
		人権・同和教育の学びによって、生徒自身がしっかりした考えを持てるよう努める。学期に一度実施している人権・同和教育ホームルーム活動の内容を充実させ、主体的な学びにつなげる。			

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

自己実現の支援	進路意識の醸成	「産業社会と人間」「総合学習」「総合研究」「進路実現講座」を中心としたキャリア教育における学習活動を効果的・効率的に推進することで生徒の進路意識の醸成を図り、キャリア教育満足度100%を目指す。 A:90%以上 B:89～80% C:79～70% D:69～60% E:59%以下			
	図書館教育	「朝の読書」、「総合研究」をはじめとした授業における調べ学習、図書委員会の活発な活動を通して読書習慣の定着を図り、年間貸出冊数600冊以上を目指す。 A:600冊以上 B:599～500冊 C:499～400冊 D:399～300冊 E:299冊以下			
	部活動の活性化	部活動加入率85%以上で活気ある部活動を実践する。 A:85%以上 B:84～80% C:79～75% D:74～70% E:69%以下			
		県大会、四国大会、全国大会の出場10部以上を目指す。 A:10部以上 B:9～7部 C:6～5部 D:4～3部 E:2部以下			
	資格取得の推進	進路実現につながる資格取得へ積極的に挑戦する意欲を持たせるとともに、全体での合格率上昇を目指す。また、上級資格への挑戦意欲を高め、資格取得を目指す指導を行う。			
教育支援の充実	アンケート結果や教育相談、スクールライフアドバイザーとの面談を通じて、生徒が抱えている問題や悩みの早期発見や、生徒一人一人の気持ちの変化を見逃さないように努める。個々の悩み解決のために生徒の心に寄り添える取組を、継続して実施する。				
開かれた学校づくり	保護者との連携強化	会員相互の親睦や信頼関係作りのために、校内や校外の関係行事への参加を呼び掛け、PTA活動の活性化に努める。さらに、学校ホームページやインターネットの機能を活用し、今日的PTA活動のあり方について研究し、企画・運営する。			
	国際教育活動の充実	外国人講師とのチームティーチングを充実させ、コミュニケーション力と国際理解の向上に努める。国際理解教育関連の活動における指導の充実を図るため、講習や研修会に参加する。			
	教育活動情報の公開	教育活動やその成果を積極的に開示するため、ホームページにおいて最新の情報をリアルタイムに更新し提供する。			
	地域との連携促進	地域行事やボランティア活動に主体的に参加し、積極的に地域との交流を図る。年間に生徒一人が1回以上のボランティア活動を行う。			
	大学等との連携促進	大学等の授業・施設利用体験、学生と生徒の交流等を各年次1回以上行う。事業所訪問、インターンシップにおいて30か所以上の事業所との連携を行う。 A:30か所以上 B:29～25か所 C:24～20か所 D:19～10か所 E:9か所以下			
保健・安全管理	安心・安全な教育環境の充実	生徒一人一人の交通安全への意識の高揚を図り、交通事故・違反ゼロを目指す。さらにヘルメット着用の徹底をはかる。			
		安全点検を年間3回以上実施し、安心・安全で清潔な施設や設備の整備に努める。また、非常変災時に備え、危機意識の向上を図るために、防災避難訓練については予告なし訓練も実施する。			
		心身の健康の保持増進を図り、健康で活力ある生徒を育てるため、保健指導・健康相談の充実に努める。また、感染症予防、適切な環境衛生の維持管理に努める。			
改業善務	職場の環境改善	業務の効率化を推進したり健康講座や健康相談を実施したりして、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。			

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。